

2026年5月18日

各位

会社名 株式会社 Z U U  
代表者名 代表取締役 富田 和成  
(コード番号：4387 東証グロース)  
問合せ先 取締役 樋口 拓郎  
(TEL. 03-4405-6102)

## (訂正) 「2026年3月期特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

2026年5月15日に公表しました「2026年3月期特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の記載事項の一部に誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

### 1. 訂正の理由

上記資料提出後に記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、訂正させていただきます。

### 2. 訂正の内容

下記のとおり記載内容の一部を訂正しております。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

(訂正後)

#### (1) 売上高

連結売上高につきましては、フィンテック・プラットフォーム領域において、不動産・金融DX事業が新規案件獲得の遅延等により減収減益となったことが主たる下振れ要因となりました。フィンテック・トランザクション領域につきましては、資金調達支援の大型案件の失注、株式会社ZUU Wealth Managementの減収減益、ならびに経営コンサルティング事業の減収といった個別事象を抱えつつも、領域全体としては前年同期を上回って推移いたしました。もともと、当該領域の伸長をもってしてもフィンテック・プラットフォーム領域の落ち込みをカバーするには至らず、直近の業績動向および期末までの見通しを精査した結果、連結売上高は前回発表予想3,400百万円を(訂正前)762百万円(訂正後)778百万円下回り、(訂正前)2,638百万円(訂正後)2,622百万円となりました。

#### (2) 営業利益及び経常利益

営業利益につきましては、上記(1)の売上高の減少に加え、株式会社ZUU Wealth Managementに係る大型アーンアウト報酬の追加発生(184百万円)、ならびに同社および

株式会社経済界に係るのれん償却費の負担、その他費用構造の見直しに伴う追加費用の計上等が影響したことにより、前回発表予想の100百万円を（訂正前）442百万円（訂正後）445百万円下回り、営業損失（訂正前）342百万円（訂正後）345百万円となりました。経常利益につきましては、投資有価証券売却益等の営業外収益の発生により損失幅が縮小するものの、前回発表予想の125百万円を（訂正前）188百万円（訂正後）192百万円下回り、経常損失（訂正前）63百万円（訂正後）67百万円となりました。

### （3）親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記（2）の経常損失への転落および後述する特別損失の計上に加え、最も大きく影響する要因として、連結子会社における当期純利益のうち非支配株主に帰属する当期純利益（訂正前）252百万円（訂正後）257百万円が計上されることとなりました。これに、当連結会計年度において発生いたしました資金流出事案に係る損失96百万円、保有する投資有価証券のうち簿価に比べて実質価額が著しく下落したと判断したものに係る評価損（訂正前）73百万円（訂正後）61百万円、および投資有価証券の売却に伴う売却損53百万円等の特別損失の計上が重なることにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想の3百万円を（訂正前）402百万円（訂正後）401百万円下回り、当期純損失（訂正前）399百万円（訂正後）398百万円となりました。

以 上